



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション
 コード番号 6392 URL <https://www.yamadacorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村瀬 博樹
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3777-5101

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,701	14.0	1,043	42.0	1,070	45.2	763	56.3
30年3月期第2四半期	5,003	17.4	734	141.1	737	145.6	488	132.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 840百万円 (40.0%) 30年3月期第2四半期 600百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	318.81	
30年3月期第2四半期	203.94	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	12,477	9,364	72.9
30年3月期	11,820	8,628	70.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 9,098百万円 30年3月期 8,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		6.50		42.50	
31年3月期		35.00			
31年3月期(予想)				45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年3月期の1株当たり年間配当金は75円00銭となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	2.8	1,500	1.7	1,500	4.3	1,100	5.4	459.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	2,400,000 株	30年3月期	2,400,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	5,769 株	30年3月期	5,769 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	2,394,231 株	30年3月期2Q	2,394,382 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済の動向は、米国では、保護主義的な通商政策の動向が今後懸念されるものの、個人消費は、賃金上昇や減税が追い風になり成長が加速し、設備投資の好調と併せ増勢を維持しました。欧州では、成長ペースは鈍化しているものの、個人消費の緩やかな拡大とともに、設備投資の拡大も続きました。中国をはじめとした新興国では、世界経済の拡大を背景に輸出が好調を維持し、個人消費も堅調に推移しましたが、インフラ投資の落ち込みが顕著となっており、成長は緩やかに減速しました。

一方、日本経済においては、生産は底堅さを維持しており、個人消費も緩やかな持ち直しが続いている中、設備投資も、高水準の企業利益を背景に回復基調が強まっており、全般的に緩やかに回復しております。

こうした中、当社グループにおいては、オートモティブ部門では、ルブリケーターや全自動フロンガス交換機が引き続き堅調に推移し、また、インダストリアル部門でも、主力製品であるダイアフラムポンプを中心に引き続き好調な推移となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は5,701百万円(前年同期比698百万円、14.0%増)となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は1,623百万円(前年同期比235百万円、17.0%増)、インダストリアル部門は3,404百万円(前年同期比432百万円、14.5%増)となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は673百万円(前年同期比30百万円、4.7%増)となりました。

利益面では、売上総利益は2,529百万円(前年同期比400百万円、18.8%増)となり、営業利益は1,043百万円(前年同期比308百万円、42.0%増)、経常利益は1,070百万円(前年同期比333百万円、45.2%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は763百万円(前年同期比274百万円、56.3%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は2,988百万円(前年同期比339百万円、12.8%増)、営業利益は741百万円(前年同期比109百万円、17.4%増)となりました。米国における外部顧客に対する売上高は1,694百万円(前年同期比220百万円、15.0%増)、営業利益は223百万円(前年同期比53百万円、31.1%増)となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は551百万円(前年同期比18百万円、3.5%増)、営業利益は28百万円(前年同期比△12百万円、31.3%減)となりました。中国における外部顧客に対する売上高は323百万円(前年同期比83百万円、34.8%増)、営業利益は35百万円(前年同期比21百万円、165.7%増)となりました。タイにおける外部顧客に対する売上高は144百万円(前年同期比36百万円、33.8%増)、営業利益は11百万円(前年同期は営業損失5百万円)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は2,943百万円(前年同期比374百万円、14.6%増)で、その割合は51.6%(前年同期51.3%、0.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は12,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ656百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加(690百万円)等によるものであります。

負債合計は3,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円の減少となりました。これは主に1年内返済予定を含めた長期借入金の減少(△75百万円)等によるものであります。

純資産合計は9,364百万円となり、前連結会計年度末に比べ736百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(661百万円)、為替換算調整勘定の増加(74百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ640百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは922百万円の純収入(前年同期は500百万円の純収入)となりました。これは主に法人税等の支払額375百万円等の支出要因があったものの、税金等調整前四半期純利益1,078百万円、売上債権の減少114百万円等の収入要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは108百万円の純支出(前年同期は53百万円の純支出)となりました。これは主に定期預金の預入による50百万円、有形固定資産の取得による79百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは180百万円の純支出(前年同期は165百万円の純支出)となりました。これは主に長短借入金の借入による255百万円等の収入要因があったものの、長短借入金の返済による330百万円、配当金の支払による101百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年11月6日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,639,469	4,329,660
受取手形及び売掛金	1,870,985	1,779,612
商品及び製品	1,533,135	1,597,179
仕掛品	353,131	357,456
原材料及び貯蔵品	544,856	539,567
その他	105,331	96,969
貸倒引当金	△4,992	△4,153
流動資産合計	8,041,915	8,696,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,417,048	1,400,089
土地	1,188,767	1,192,654
その他（純額）	421,332	438,580
有形固定資産合計	3,027,148	3,031,325
無形固定資産	61,876	56,488
投資その他の資産	689,929	692,960
固定資産合計	3,778,955	3,780,774
資産合計	11,820,870	12,477,067
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,362,472	1,424,641
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	325,840	188,804
未払法人税等	306,089	241,369
賞与引当金	146,087	150,478
未払費用	164,126	162,288
その他	102,316	87,727
流動負債合計	2,506,931	2,355,308
固定負債		
長期借入金	33,809	95,527
繰延税金負債	196,757	198,971
退職給付に係る負債	310,999	321,276
役員退職慰労引当金	43,099	43,899
資産除去債務	20,628	20,628
長期未払金	32,270	32,270
その他	48,027	44,230
固定負債合計	685,591	756,802
負債合計	3,192,522	3,112,111

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	7,535,040	8,196,579
自己株式	△6,797	△6,797
株主資本合計	8,186,430	8,847,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,595	146,728
為替換算調整勘定	29,025	103,878
その他の包括利益累計額合計	178,620	250,607
非支配株主持分	263,297	266,378
純資産合計	8,628,348	9,364,955
負債純資産合計	11,820,870	12,477,067

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）
売上高	5,003,577	5,701,940
売上原価	2,874,860	3,172,551
売上総利益	2,128,716	2,529,389
販売費及び一般管理費	1,394,310	1,486,237
営業利益	734,406	1,043,152
営業外収益		
受取利息	675	1,367
受取配当金	8,239	9,108
負ののれん償却額	2,445	2,445
為替差益	—	3,628
不動産賃貸料	16,225	15,790
その他	4,511	4,719
営業外収益合計	32,098	37,060
営業外費用		
支払利息	1,384	1,027
売上割引	7,396	6,971
為替差損	17,258	—
その他	3,456	2,060
営業外費用合計	29,495	10,058
経常利益	737,008	1,070,153
特別利益		
固定資産売却益	289	1,095
投資有価証券売却益	—	7,553
特別利益合計	289	8,649
特別損失		
固定資産処分損	498	15
特別損失合計	498	15
税金等調整前四半期純利益	736,799	1,078,787
法人税、住民税及び事業税	298,953	312,400
法人税等調整額	△56,537	△2,006
法人税等合計	242,416	310,393
四半期純利益	494,383	768,393
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,074	5,100
親会社株主に帰属する四半期純利益	488,309	763,293

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	494,383	768,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,401	△2,866
為替換算調整勘定	74,333	74,853
その他の包括利益合計	105,735	71,986
四半期包括利益	600,119	840,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	594,044	835,280
非支配株主に係る四半期包括利益	6,074	5,100

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	736,799	1,078,787
減価償却費	116,429	105,961
負ののれん償却額	△2,445	△2,445
固定資産売却損益(△は益)	208	△1,080
受取利息及び受取配当金	△8,914	△10,476
支払利息	1,384	1,027
売上債権の増減額(△は増加)	84,652	114,050
たな卸資産の増減額(△は増加)	△233,406	△10,458
仕入債務の増減額(△は減少)	61,194	33,995
その他	△80,199	△21,176
小計	675,702	1,288,184
利息及び配当金の受取額	8,914	10,476
利息の支払額	△1,275	△1,095
法人税等の支払額	△182,979	△375,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	500,362	922,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△502	△50,502
定期預金の払戻による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△61,289	△79,376
有形固定資産の売却による収入	289	1,095
投資有価証券の取得による支出	△1,517	△1,111
投資有価証券の売却による収入	—	8,924
投資不動産の賃貸による収入	16,225	15,790
その他	△7,301	△4,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,594	△108,865
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	80,000	55,000
短期借入金の返済による支出	△83,076	△55,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△69,102	△275,318
配当金の支払額	△89,815	△101,714
非支配株主への配当金の支払額	△2,018	△2,018
その他	△1,370	△1,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,383	△180,423
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,908	6,940
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	300,292	640,189
現金及び現金同等物の期首残高	2,824,961	3,608,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,125,254	4,248,930

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	2,649,837	1,473,939	532,519	239,607	107,673	5,003,577
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,513,653	46,866	5,477	—	—	1,565,997
計	4,163,490	1,520,805	537,997	239,607	107,673	6,569,574
セグメント利益又は損失(△)	631,493	170,666	41,460	13,266	△5,478	851,409

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	851,409
セグメント間取引消去	35,692
棚卸資産の調整額	△152,695
四半期連結損益計算書の営業利益	734,406

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	2,988,930	1,694,724	551,093	323,073	144,118	5,701,940
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,498,569	50,685	9,630	4,193	—	1,563,078
計	4,487,499	1,745,410	560,724	327,266	144,118	7,265,019
セグメント利益	741,098	223,811	28,469	35,244	11,002	1,039,625

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,039,625
セグメント間取引消去	30,423
棚卸資産の調整額	△26,896
四半期連結損益計算書の営業利益	1,043,152